

る。SDGs(Sustainable Development Goals)とは、持続可能な社会構築を目指して国連が採択した国際目標である。地方創生に向けた取り組み、海や山や水など環境保全や生物多様性や気候変動の課題解決に向けた取り組み、貧困を克服するべく取り組み、産業経済の在り方、ジェンダー・パートナーシップなど 17 の目標を掲げている。多くが NPO・NGO の活動とも重なる。子ども食堂の取り組み、森林や里山を守る活動、独居高齢者の問題や障がい者の社会参加推進、スポーツで地域活性化を図る活動、災害復興、観光の振興と県内でもすばらしい活動を展開している組織が多数存在する。

2019 年、私たちの手で、持続可能な社会構築を目指して新たな取り組みを受講生の皆さんと一緒に考えてみたいと思う。

◆今週の一冊◆

中村先生おすすめの書籍です。



『NPO という生き方』 島田 恒著 PHP 研究所

『NPO を考える』 伊佐 淳著 創成社

1 冊紹介ということですが、欲張って 2 冊紹介させていただきます。伊佐先生とは、各地域で NPO センター立ち上げの時期、広島県と福岡県と離れてはいましたが、それぞれ組織を立ち上げたメンバーで旧知の間柄であります。私自身はずっと現場にいてそれから研究の道に入ったのですが、現場主義ということでは伊佐先生も島田先生も同じように重視されています。「NPO を考える」は、NPO を基本的なところから知りたいという方々を念頭に、NPO をマクロ・ミクロ両面から見ることを試みた解説書となっています。NPO の定義から法人制度、そもそもなぜ NPO は存在するのか、企業や行政とは何が異なるのか、NPO はこれからどうなるのかなどわかりやすく解説されています。

「NPO という生き方」は、NPO 活動の事例を多く紹介しながら、あまりにも経済合理主義に偏している社会のバランスを回復し、人々の暮らしの真の豊かさを実現したいという願いをもって「もう一つの社会」「もう一つの生き方」を NPO の中にその創出の可能性を見出そうとする意欲作です。社会的な起業家精神(ソーシャル・アントレプレナーシップ)としての NPO の活力や現代社会における NPO の役割、新しいコミュニティを創る取り組み、NPO の成功事例や失敗事例を通じて、その経営・マネジメントを紐解いています。NPO の失敗とその予防装置についての論述は NPO 関係者にぜひ読んでもらいたい。この 2 冊は、次のステップにむけて、NPO・NGO を基本に戻って見つめてもらうのに必須の本だろうと思います。

◎事務局から◎

2019 年度、キャリアアップ・プログラム、カルチャー講座受講申し込み受付中です！

(1 学期の申し込みは 5 月 7 日(火)で終了しました。)

詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元：広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)